

# 参 考 資 料

ニッポン放送の災害情報収集ネットワーク

FEMA のプロジェクト・インパクト

環境マネジメント 環境会計

業務継続計画目次例

# ニッポン放送の災害情報収集ネットワーク (タクシー防災レポーター)

防災システム

ニッポン放送

いざというとき、すぐラジオ! ニッポン放送では、災害時に必要な情報をできるだけ多くの情報を集めるべく、さまざまな情報網を駆使しています。

**安否情報ネットワーク**

災害が起こったとき、ニッポン放送ではいちばん知りたい【安否情報】をニッポン放送独自のネットワークを駆使して集め随時放送します。ビル単位で安否を伝える【お勤め先安否情報】、学校単位で安否を伝える【学校安否情報】があります。

**お勤め先安否情報リスト**  
**学校安否情報リスト**

**災害情報収集ネットワーク**

災害が起こったとき、いち早く被災の全容をつかみ、被害の拡大を防止するため、東京の法人タクシーの協力を得、【タクシー防災レポーター制度】を実現。災害の現場に居合わせる可能性の高いタクシードライバーから、できるだけ新しい生の情報を集めます。また、東京の理容店の協力を得て情報を収集する【理容防災ネットワーク制度】で地域情報の収集をします。

**タクシー防災レポーター**  
**理容防災ネットワーク (準備中)**

**ニッポン放送防災ひとくちメモ**

ニッポン放送の防災レポーター全員から、ひとりにつきひとつづつ本人の声によるアドバイスが聞けます。あなたも、いざという時に備えましょう。

**防災のアドバイスはこちら**

音声をお聞きになるには無償のリアルプレーヤーが必要となります。お使いでない場合は右のボタン

## タクシー防災レポーター 協力社一覧

- |  |  |   |
|--|--|---|
| イースタンモータース<br>共栄交通<br>京西交通<br>親和交通<br>第三コンドルタクシー<br>大和自動車<br>帝都自動車交通<br>同進交通<br>日本交通<br>東日本交通<br>マコト交通<br>ミツ矢観光自動車<br>和親交通 | 盈進自動車<br>久留米交通<br>ケイエム国際<br>スガイ交通<br>大日本交通<br>大和自動車交通<br>東京協同タクシー<br>東都交通<br>宝自動車交通<br>日の丸交通<br>丸井自動車<br>南観光交通<br>大栄交通 | 荏原興業<br>京王交通<br>三陽自動車<br>第一交通<br>大日本自動車交通<br>宝自動車交通<br>東京コンドルタクシー<br>都民交通<br>コンドルキャブ<br>毎日タクシー<br>美鈴タクシー<br>宮園自動車<br>大同交通 |
|--|--|---|

出典：ニッポン放送ホームページ  
<http://www.1242.com/bousai/>

【FEMAのプロジェクト・インパクト（「災害に強い街づくり作戦」）】



各地域、コミュニティにおいて、行政、住民、企業・財界等で防災・減災に向けたパートナーシップを組んでもらい、防災・減災プロジェクトを彼らが計画し実行するというもの。F E M Aはそれに対して初期に数十万ドル～数百万ドルの助成を行う。州政府が併せて助成するところもある。F E M A及び州政府は、技術的なアドバイスも行う。実際に、全米で250のコミュニティとビジネス・パートナーといわれる財界・民間企業との提携は4千にも及んでいる。( V I S A、3 M社、シーメンス等大手企業も含む ) などがあり、非常に大きな成功を収めている。

内容的には、自治体の主な部署がこぞって災害に強い建物に移るといった大掛かりなものから、商店主が店先に防災PRのコーナーを設けたといった草の根の活動まで含まれている。

【オークランド市】

市、企業、住民の連携から始まった同市のSAFE (SAFE : Safety and Future Empowerment) プロジェクトは、公共の安全を最優先させることを約束している。SAFEプロジェクトにはシェブロンオイル、EQE インターナショナル (Engineering Firm)、ワシントン相互銀行、アメリカ赤十字社、オークランド商業会議所、CARD (CARD : Collaborating Agencies Responding to Disasters) オークランドの18のグループを代表する非政府組織で災害対策協力機関) 等が参加している。FEMAが100万ドルの初期支援をしたのに対し、これらの機関やグループは全体で、直接の資金提供ないしサービス提供という形で600万ドルの投資をした。連携グループはオークランド市の危険分析、リスクアセス

メントを実施し、家庭および企業の強化プログラムを作成した。厳しい気象条件下でのシステム上の弱点は何かを知るため、公共施設とインフラを点検。さらにSAFEプロジェクトの参加団体は自分たちの施設をもっと危険に耐え得るものにし、非常訓練や特別サービスを提供して社員を援助することを約束した。

#### 【サンレアンドロ市】

サンレアンドロ市は、住宅の耐震補強に重点的に取り組んだ。「個人でできる耐震補強マニュアル」を作成、全戸に配布した上で、市内の事業者等の協力を得て、必要な機材を安価で市民に提供するとともに、工具等の無償貸与を実施している。

また、数多くの企業（コカコーラ社等）が立地していることから、市がそれら企業と協定（Memorandum of Understanding）を結び、災害時及び災害予防に際しての企業の協力（物資提供等）を要請するとともに、市においては、企業施設の脆弱性評価や耐震化等に関し、州政府や連邦政府の技術的支援をあっせんすることとしている。

市とこれら協力企業等は、年に4回、意見交換会を開催している。